

山辺・県北西部広域環境衛生組合
新ごみ処理施設建設に係る環境影響評価準備書

第1回環境影響評価審査部会



天理市

日時：令和元年8月28日 10：00～

場所：奈良県経済倶楽部 大会議室

目次

1. 事業計画
2. 準備書に対する知事意見の概要と事業者の見解
3. 環境影響評価項目の選定
4. 調査・予測・評価の結果
5. 準備書の縦覧・意見書の提出

1

事業計画

2

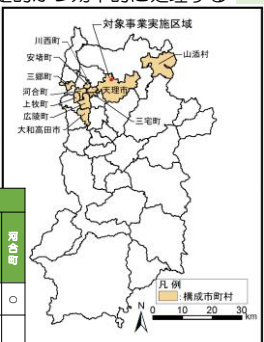
都市計画対象事業の目的

本事業は、山辺・県北西部広域環境衛生組合により、構成市町村内で発生するごみを安定的かつ効率的に処理する焼却施設（可燃ごみ処理）及び粗大・リサイクル施設（不燃・粗大及び資源ごみ処理）を整備することを目的とします。

焼却施設：エネルギー回収型廃棄物処理施設
粗大・リサイクル施設：マテリアルリサイクル推進施設

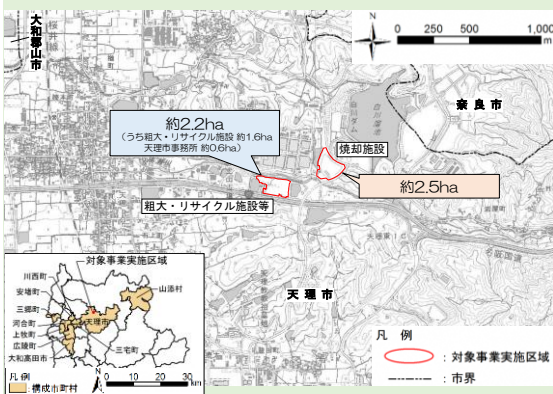
構成市町村のごみ処理参加区分

区 分	構成市町村							
	大和高田市	天理市	山辺町	三郷町	安堵町	川西町	三宅町	上牧町
可燃ごみ処理	○	○	○	○	○	○	○	○
不燃・粗大ごみ及び資源ごみ処理		○	○	○	○	○	○	○



3

都市計画対象事業実施区域の位置



4

都市計画対象事業の種類及び施設規模

「奈良県環境影響評価条例」による対象事業の種類

廃棄物焼却施設の設置の事業

施設規模（焼却処理施設、粗大ごみ処理施設）

施設	項目	諸元
焼却施設	位置及び面積	天理市岩屋町459番2 外2筆 約2.5 ha
	処理能力	284 t/日（全連続式燃焼方式）
	搬入日数	6 日/週
	運転計画	通年、24時間連続運転
	取扱い廃棄物	可燃ごみ、残渣等（可燃物、破砕残渣）
	煙突高さ	59 m
粗大・リサイクル施設等	位置及び面積	天理市樺本町3235番1 外46筆 約2.2 ha 〔うち粗大・リサイクル施設 約1.6 ha 天理市事務所 約0.6 ha〕
	処理能力	23.5 t/日（破砕・選別、圧縮・梱包）
	搬入日数	6 日/週
	取扱い廃棄物	不燃・粗大ごみ系統： 不燃物（燃やせないごみ）、粗大ごみ 資源ごみ系統： びん、缶、プラスチック製容器包装、ペットボトル、 古紙、古書、蛍光灯、電池、小型家電

5 施設の完成イメージ（案）



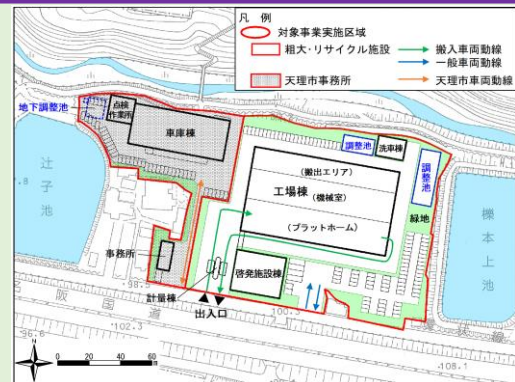
※環境影響評価のための想定図です。

6 施設配置計画 焼却施設



※上図の土地利用及び動線は、現時点での想定です。

7 施設配置計画 粗大・リサイクル施設等



※上図の土地利用及び動線は、現時点での想定です。

8 公害防止計画

本事業に係る大気質、騒音、振動、悪臭及び水質の環境保全基準のうち、**大気質に関しては、施設整備検討委員会の検討を経て、良好な環境の維持・保全を図るために法規制値よりも厳しい環境保全基準（自主基準値）の設定を行いました。**その他の項目は法規制値や条例規制値を環境保全基準に適用しました。

公害防止に係る法規制値（大気質）

項目	自主基準値	法規制値（参考）
ばいじん	0.01g/m ³ 以下	0.04g/m ³ 以下 大気汚染防止法（4t/時以上の廃棄物焼却炉）
塩化水素(HCl)	20ppm以下	430ppm以下 (700mg/m ³ 以下) 大気汚染防止法（廃棄物焼却炉）
硫酸酸化物(SO _x)	20ppm以下	K値=17.5 2,000ppm程度 大気汚染防止法
窒素酸化物(NO _x)	40ppm以下	250ppm以下 大気汚染防止法（廃棄物焼却炉（連続炉））
水銀	30μg/m ³ 以下	30μg/m ³ 以下 大気汚染防止法（廃棄物焼却炉の新設の排出基準）
ダイオキシン類	0.05ng-TEQ/m ³ 以下	0.1ng-TEQ/m ³ 以下 ダイオキシン類対策特別措置法（4t/時以上の廃棄物焼却炉）

※はいじんの維持管理目標値は0.005g/m³以下とします。

9 給排水計画

プラント系、生活系給排水計画

給水・排水	給排水計画
プラント用水	焼却施設は上水、井水及び再利用水。粗大・リサイクル施設は上水
プラント排水	焼却施設は公共下水道放流。ただし、災害等で下水道放流が不可能となった場合はクローズドシステムによる処理（循環再利用）を行う。 粗大・リサイクル施設は公共下水道放流
生活用水	焼却施設は上水及び井水。粗大・リサイクル施設は上水
生活排水	公共下水道放流

雨水排水計画

排水	給排水計画
排水（焼却施設）	既存の雨水流出抑制施設を活用して3系統に分けて高瀬川、七辻上池及び原谷池に排水
排水（粗大・リサイクル施設）	雨水流出抑制施設を配置して高瀬川及び高瀬川沿いの農業用水路に排水
再利用（焼却施設）	工場棟等の屋根に降った雨水は、積極的に再利用 再利用後の余剰分及びその他の雨水は、雨水流出抑制施設で排水量の調整を行った後、公共用水域へ放流

10 収集運搬計画（台数）

対象施設等	市町村	車両	車両台数（台/日）	使用道路
焼却施設	天理市	収集車両及び許可業者車両（パッカー車等）	40	一般道
		直接持込車両（普通自動車）※1	65	
	川西町 三宅町 山添村	収集車両（パッカー車等）	10	名阪国道
	大和高田市 三郷町 安徳町 上牧町 広陵町 河合町	積み替え車両（10t車等）	30	名阪国道
粗大・リサイクル施設	その他車両※2		5	一般道
	小計		150	—
	天理市		15	一般道
	天理市以外		15	名阪国道
合 計	小計		30	—
			180	—

※1：粗大・リサイクル施設への台数を含む天理市事務所にて検査後に持ち込みを行う。

※2：灰搬出車両等

11 収集運搬計画(天理市内からの車両ルート)



12 収集運搬計画(天理市以外からの車両ルート)



13 方法書に対する知事意見の概要と事業者の見解

14 方法書に対する知事意見の概要と事業者の見解

区分	知事意見	事業者の見解
1. 大気質	上層気象の調査について、調査期間を4季、7日間の調査としているが、観測条件を十分検討した上で、調査・予測・評価を実施すること。	上層気象調査は季節的な変動を把握できるよう、4季調査を実施しました。また、これらの観測条件を踏まえて予測・評価を実施しました。具体的には「第7章 7.1 大気質 p235～」に記載しました。
2. 騒音・振動	騒音・振動の調査地点について、敷地境界、民家等との距離・位置関係を準備書に記載すること。	粗大・リサイクル施設については、類似施設の調査事例や、粉じん対策の内容を踏まえ、予測・評価を実施しました。具体的には「第7章 7.1 大気質 p306～」に記載しました。
3. 水質	低周波音の調査について、周辺民家近傍の状況を十分調査した上で、予測・評価を実施すること。	騒音・振動の調査地点について、敷地境界、民家等との距離・位置関係が分かるように「第7章 7.2 騒音 p321、7.3 振動 p371」に記載しました。
	降雨時における水質調査について、強い雨が降ると予測される条件でも、予測・評価を実施すること。	低周波音の調査については、周辺民家近傍となる敷地境界の調査地点で調査を実施しました。また、類似施設の調査事例や、低周波音対策の内容を踏まえ、予測・評価を実施しました。具体的には「第7章 7.4 低周波音 p408～」に記載しました。
		降雨時の水質調査は20mm/h以上の強い雨が降る条件で実施しました。また、台風等の予想される場合の環境保全措置もきめて予測・評価を行いました。具体的には「第7章 7.6 水質 p433～」に記載しました。

15 方法書に対する知事意見の概要と事業者の見解

区分	知事意見	事業者の見解
4. 動物・植物・生態系	魚類底生動物の調査地点について、選定理由を準備書に記載すること。	魚類・底生動物の調査地点について、選定理由を「第7章 7.8 動物 p448～」に記載しました。
5. 景観	植物の調査について、湿地及びため池の中の水草類についても調査を実施すること。	植物調査は、湿地及びため池の中の水草類についても調査を実施しました。
6. その他の事業計画	景観デザインについて、完成形の配慮事項を整理し、準備書に記載すること。	景観の予測・評価では、最終的なデザインに反映できるよう、環境配慮事項を「第7章 7.11 景観 p531」に記載しました。
	煙突の高さについては、自主規制値を十分達成できる条件で、景観にも配慮し、決定すること。	煙突の高さについては、大気環境影響、景観影響といった環境の側面のほか、経済性など多面的に総合検討を行い、最終的には大気質に関する配慮を重視することで、有識者や地元自治会等で構成された新こみ処理施設整備検討委員会において59mで決定しました。

16 環境影響評価項目の選定

環境影響要因

工事の実施



- ・工事用車両の運行
- ・切土工等
- ・建設機械の稼働

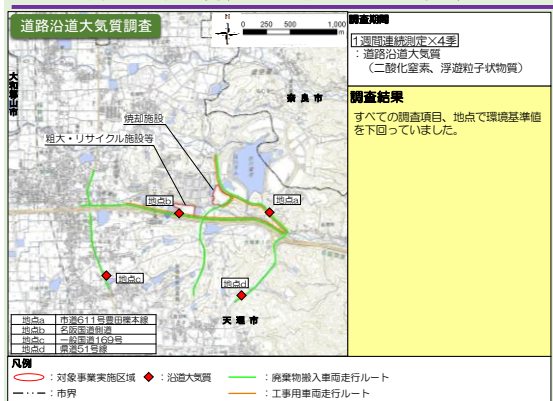
土地又は工作物の存在及び供用



- ・施設の使用
- ・施設の稼働
- ・廃棄物搬入車両の運行
- ・雨水の排水

環境影響要因の区分		工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用	
		工事用車両の運行	切土工等	建設機械の稼働	施設の使用
環境の自然的構成要素の良好な保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	二酸化窒素	○	○
			浮遊粒子状物質	○	○
			二酸化硫黄	○	○
			粉じん等	○	○
			ダイオキシン類	○	○
			その他有害物質	○	○
		騒音	騒音	○	○
			振動	○	○
			低周波音	○	○
			悪臭	○	○
水環境	水質	水の濁り 水の汚れ	水の濁り 水の汚れ	○	○
			重要な地形及び地質	○	○
			地盤・土壌	○	○

環境影響要因の区分		工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用	
		工事用車両の運行	切土工等	建設機械の稼働	施設の使用
環境要素の区分	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地	○	○
	植物	重要な種及び群落	○	○	○
	生態系	地域を特徴づける生態系	○	○	○
	人と自然及び文化遺産との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	○	○
	人と自然との触れ合いの活動の場	○	○	○	○
	文化遺産	文化財及び埋蔵文化財包蔵地	○	○	○
	環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	建設工事に伴う副産物	○	○
	廃棄物	○	○	○	○
	温室効果ガス等	二酸化炭素	○	○	○



工事の実施 工事用車両の運行による二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の影響

工事用車両の運行による大気質については、二酸化窒素は、工事用車両による影響割合が0.04～0.06%と小さく、工事中の沿道の濃度は0.031～0.042ppmと環境基準値である0.04～0.06ppmを下回り、浮遊粒子状物質は工事用車両による影響割合が0.01～0.02%と小さく、工事中の沿道の濃度は0.041～0.045mg/m³と環境基準値である0.10mg/m³を下回ると予測します。

また、**工事工程の管理、工事用車両の通行時間の調整、エコドライブ**等の措置を講じ、影響を抑制します。

工事の実施 工事用車両の運行による粉じん等の影響

工事用車両の運行による粉じんについては、**路面清掃、タイヤ洗浄、鉄板の敷設**等の措置を講じ、影響を抑制します。

工事の実施 切土工等及び建設機械の稼働による粉じん等の影響

切土工及び建設機械の稼働による粉じんについては、**飛散防止**等の措置を講じ、影響を抑制します。

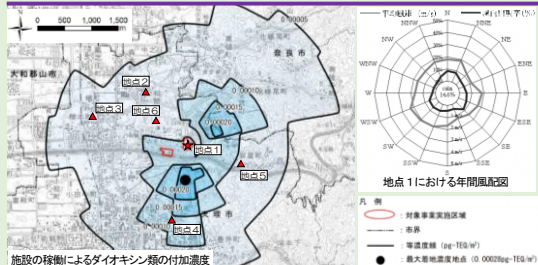
施設の供用 施設の稼働による粉じん等の影響

粗大・リサイクル施設の稼働による粉じんの飛散を防止するために、設備機器は建屋内に設置し、粉じんが発生する箇所や機械設備には、**集じん設備**や**散水設備**などを設ける計画であり、影響を抑制します。

施設の供用 施設の稼働による二酸化窒素等の影響

長期予測項目			付加濃度	現状濃度	将来濃度 (年平均値)	日平均値の 年間98%値 又は2%除外値	環境基準等
区分	物質						
最大着地濃度地点	二酸化窒素 (ppm)	0.00006	0.013	0.013	0.024	日平均値が0.04～0.06の ゾーン内又はそれ以下	
	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.00006	0.017	0.017	0.039	日平均値が0.10以下	
	二酸化硫黄 (ppm)	0.00011	0.002	0.002	0.005	日平均値が0.04以下	
	ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	0.00028	0.011	0.011		年平均値が0.6以下	
	水銀 (μg/m ³)	0.00017	0.0017	0.0019		年平均値が0.04以下	

：環境基準等との比較する数値



予測地点	付加濃度 (1) (pg-TEQ/m ³)	現状濃度 (2) (pg-TEQ/m ³)	将来濃度 (1)+(2) (pg-TEQ/m ³)	(参考) 影響割合 1/(1)+(2)×100
最大着地濃度地点(南側約630m地点)	0.00028	0.011	0.011	2.5%
地点2 土の着公園	0.00006	0.011	0.011	0.6%
地点3 榎本幼稚園	0.00006	0.013	0.013	0.5%
地点4 豊田公民館前駐車場	0.00013	0.012	0.012	1.1%
地点5 岩屋町公民館東	0.00008	0.0087	0.0088	0.9%
地点6 白河公園	0.00008	0.010	0.010	0.8%

上表のうち、現状濃度及び将来濃度は、有効数字二桁とした。

施設の供用 施設の稼働による二酸化窒素等の影響

最大着地濃度地点における各項目の予測値は、付加濃度は小さく、将来濃度は環境基準値等を下回るものと予測します。

また、**最新の排ガス処理設備の導入、設備の定期点検、排出ガスの監視**等の措置を講じ、影響を抑制します。

施設の供用 廃棄物搬入車両の運行による二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の影響

廃棄物搬入車両の運行による大気質については、二酸化窒素は、廃棄物搬入車両による影響割合が0.02～0.13%と小さく、供用時の沿道の濃度は0.024～0.042ppmと環境基準値である0.06ppmを下回り、浮遊粒子状物質は廃棄物搬入車両による影響割合が0.01～0.03%と小さく、供用時の沿道の濃度は0.041～0.047mg/m³と環境基準値である0.10mg/m³を下回ると予測します。

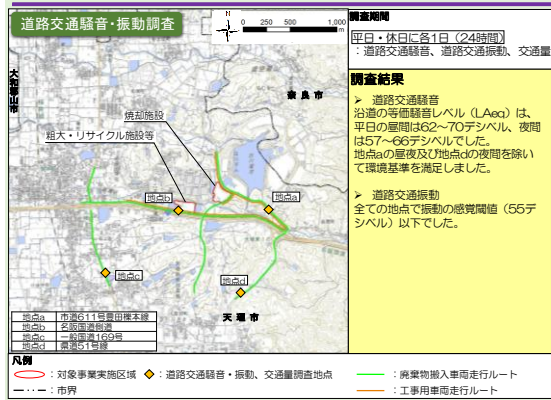
また、**廃棄物運搬工程の管理、廃棄物搬入車両の通行時間の調整、エコドライブ**等の措置を講じ、影響を抑制します。

施設の供用 廃棄物搬入車両の運行による粉じん等の影響

廃棄物搬入車両の運行による粉じんについては、**路面清掃、タイヤ洗浄**等の措置を講じ、影響を抑制します。



29 調査結果 現状の道路交通騒音・振動の状況



30 予測結果 騒音・振動

工事の実施 工事用車両の運行による騒音・振動の影響

騒音		単位:デシベル			
予測地点	時間区分	現況騒音レベル (現地調査結果)	予測騒音レベル (2)	増加量 (2)-(1)	環境基準
地点a	昼間	66	66.8	0.8	60
地点b	昼間	62	64.8	2.8	70

※昼間: 6～22時

振動		単位:デシベル			
予測地点	時間区分	現況振動レベル (現地調査結果)	予測振動レベル (2)	増加量 (2)-(1)	規制基準
地点a	昼間	35	36.7	1.7	65
地点b	昼間	39	44.4	5.4	70

※昼間: 8～19時

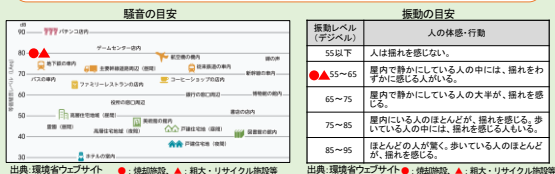
工事用車両の運行による騒音・振動の影響については、**工事工程管理、通行時間の調整、エコドライブ**といった措置を講じ、影響を抑制します。

31 予測結果 騒音・振動

工事の実施 切土工等及び建設機械の稼働による騒音・振動の影響

騒音		単位:デシベル		振動		単位:デシベル	
施設	敷地境界の最大レベル	規制基準	施設	敷地境界の最大レベル	規制基準	施設	敷地境界の最大レベル
焼却施設	78	85以下	焼却施設	56	75以下	焼却施設	56
粗大・リサイクル施設等	82	85以下	粗大・リサイクル施設等	56	75以下	粗大・リサイクル施設等	56

建設機械の稼働による騒音・振動の影響については、**低騒音・低振動型機械の使用、工事・施工工程の管理**といった措置を講じ、影響を抑制します。

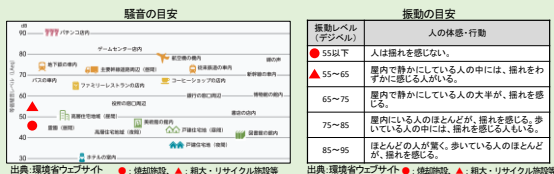


32 予測結果 騒音・振動

施設の供用 施設の稼働による騒音・振動の影響

騒音		単位:デシベル				振動		単位:デシベル			
施設	敷地境界の最大レベル	規制基準 (第一種区域)	昼間 8～19時	夜間 22～2時	夜間 22～2時	施設	敷地境界の最大レベル	規制基準 (第一種区域)	昼間 8～19時	夜間 22～2時	夜間 22～2時
焼却施設	45	60以下	50以下	45以下	45以下	焼却施設	53	60以下	55以下	55以下	55以下
粗大・リサイクル施設等	54	60以下	—	—	—	粗大・リサイクル施設等	60	60以下	—	—	—

施設の稼働による騒音・振動の影響については、**低騒音・低振動型機械の採用、施設内車両の安全通行、苦情対応**といった措置を講じ、影響を抑制します。



33 予測結果 騒音・振動

施設の供用 廃棄物搬入車両の運行による騒音・振動の影響

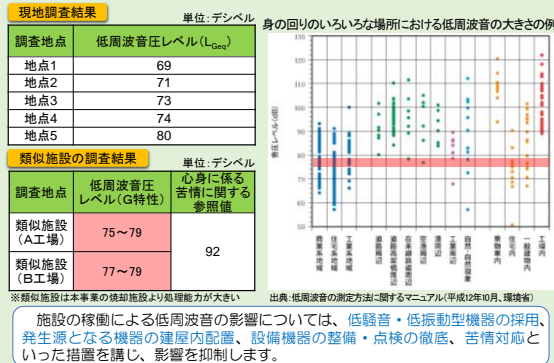
騒音		単位:デシベル				振動		単位:デシベル			
予測地点	時間区分	現況騒音レベル (1)	予測騒音レベル (2)	増加量 (2)-(1)	環境基準	予測地点	時間区分	現況振動レベル (1)	予測振動レベル (2)	増加量 (2)-(1)	規制基準
地点a	昼間	66	66.7	0.7	60	地点a	昼間	35	36.6	1.6	65
地点b	昼間	62	63.5	1.5	70	地点b	昼間	39	42.9	3.9	70
地点c	昼間	68	68.0	0.0	70	地点c	昼間	38	38.0	0.0	70
地点d	昼間	70	70.0	0.0	70	地点d	昼間	42	42.1	0.1	70

※昼間: 6～22時

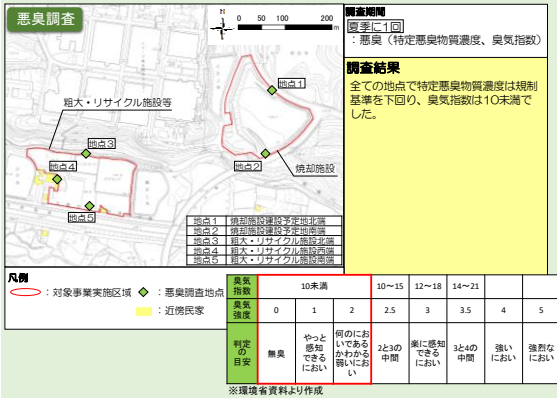
廃棄物搬入車両の運行による騒音・振動の影響については、**収集運搬工程管理、通行時間の調整、施設内車両の安全通行、エコドライブ**といった措置を講じ、影響を抑制します。

34 予測結果 低周波音

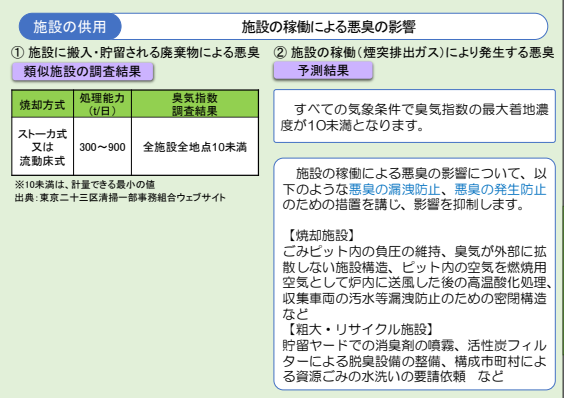
施設の供用 施設の稼働による低周波音の影響



調査結果 現状の悪臭の状況



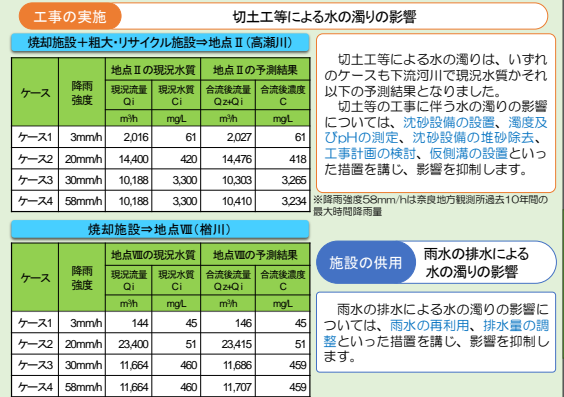
予測結果 悪臭



調査結果 現状の水質・底質の状況



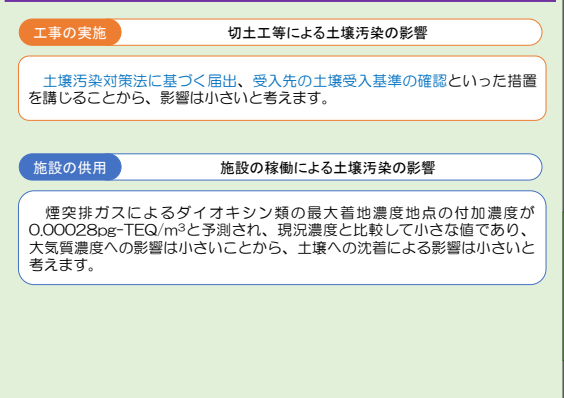
予測結果 水質



調査結果 土壌汚染




予測結果 土壌汚染



41 調査結果 現状の動物・植物の状況

動物・植物調査



調査期間
4季に各1回
：哺乳類、鳥類、両生・爬虫類、
魚類、底生動物
2月～8月（3日連続/月）×2回
：猛禽類
3季（春・夏・秋）に各1回：昆虫類
2季（春・秋）に各1回：陸産貝類
4季に各1回：植物相
2季（春・秋）に各1回：水生植物

調査結果
動物
対象事業実施区域及びその周辺で
53種の重要種を確認しました。
植物
対象事業実施区域及びその周辺で
8種の重要種を確認しました。

凡例

- 対象事業実施区域
- 動物・植物調査範囲（半径200m）
- 市界
- 河川
- 猛禽類調査地点
- 魚類・底生動物調査地点

猛禽類	調査地点	植物・動物調査地点	
地点1	白川ダム北西湖畔	地点1	白川ダム北西湖畔
地点2	市道611号豊田橋本線	地点2	市道611号豊田橋本線
地点3	市道611号豊田橋本線	地点3	市道611号豊田橋本線
地点4	市道611号豊田橋本線	地点4	市道611号豊田橋本線
地点5	市道611号豊田橋本線	地点5	市道611号豊田橋本線
地点6	市道611号豊田橋本線	地点6	市道611号豊田橋本線
地点7	市道611号豊田橋本線	地点7	市道611号豊田橋本線
地点8	市道611号豊田橋本線	地点8	市道611号豊田橋本線
地点9	市道611号豊田橋本線	地点9	市道611号豊田橋本線
地点10	市道611号豊田橋本線	地点10	市道611号豊田橋本線
地点11	市道611号豊田橋本線	地点11	市道611号豊田橋本線

42 調査結果 現状の動物・植物の状況

重要種

項目	種数	重要な種
哺乳類	1種	カヤネズミ
鳥類及び 猛禽類	22種	オオバン、ヨシガモ、カンムリカイツブリ、イカルチドリ、コチドリ、クサシギ、イソシギ、ミサゴ、ハチクマ、ツミ、ハイタカ、オオタカ、ノスリ、サシバ、クマタカ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、オオムシクイ、セッカ、エゾビタキ、ビンズイ、イカル
両生類・ 爬虫類	7種	トノサマガエル、シュレーゲルアオガエル、ニホンヤモリ、アオダイショウ、ジムグリ
昆虫類	9種	コノシメトンボ、ショウリョウバッタモドキ、キシタアツバ、コマルケンゲンゴロウ、コガムシ、クロスジチャイロトノウ、ヤマトアシナガバチ、クロマルハナバチ、マイマイツツハナバチ
陸産貝類	6種	ナガオカモノアラガイ、イボイボナメクジ、ウメムラシタラガイ、オオウエビ、ヒメカサキビ、クメマガリマイマイ
魚類	2種	ドジョウ、シマヒレシノボリ
底生動物	6種	ヒラマキミズマイマイ、キヒロサナエ、フタスジサナエ、ハネナシアメンボ、マルヒラタガムシ、ゲンジボタル
植物	8種	ヒメズワラビ、イヌマキ、コブシ、ニッケイ、センリョウ、ヒメミハシキ、クロヤツシロラン、ヨクラン

生態系注目種


生態系の注目種	
上位性	キツネ、カワウ
典型性	アオサギ、ノウサギ、スズメ、ゲンジボタル

43 予測結果 動物・植物・生態系


施設の供用

施設の稼働による動物・植物・生態系の影響

施設の存在に伴う動物、植物及び生態系の重要な種への影響について、一部の河川内の生物に雨水排水による濁りの影響が考えられますが、調整池の設置や雨水の再利用、排水量の調整などの措置を講じ、影響を抑制します。



コチドリ
(平成30年12月18日撮影)



ニホンヤモリ
(平成30年10月17日撮影)



コクラン
(平成30年10月11日撮影)

44 調査結果 現状の景観の撮影地点

調査期間
4季に各1回：主要な眺望景観

調査結果
景観
各調査地点の景観写真を撮影しました。

凡例

- 対象事業実施区域
- 市界
- 景観調査地点
- 景観資源
- 大和青垣国定公園
- サイクリングコース及びハイキングコース

45 予測結果 景観

施設の供用

施設の存在による景観の影響



地点1(白川ダム北西湖畔)

大和青垣国定公園の山景

46 予測結果 景観

施設の供用

施設の存在による景観の影響



地点2(市道611号豊田橋本線)

47

予測結果 景観

施設の供用

施設存在による景観の影響

地点3(原谷池北東側)



調査・予測・評価の結果
2/28提出

48

予測結果 景観

施設の供用

施設存在による景観の影響

地点4(天理よろづ相談所病院白川分院)



調査・予測・評価の結果
2/28提出

49

予測結果 景観

施設の供用

施設存在による景観の影響

地点5(市道611号豊田様本線)



調査・予測・評価の結果
2/28提出

50

予測結果 景観

施設の供用

施設存在による景観の影響

地点6(シャープ駐車場西側)



調査・予測・評価の結果
2/28提出

51

予測結果 景観

施設の供用

施設存在による景観の影響

地点7(名阪国道側道)



調査・予測・評価の結果
2/28提出

52

予測結果 景観

施設の供用

施設存在による景観の影響

地点8(白川大橋)



調査・予測・評価の結果
2/28提出

施設の供用

施設の存在による景観の影響

地点9(名阪国道)



施設の供用

施設の存在による景観の影響

地点10(ハイキングコース)



施設の供用

施設の存在による景観の影響

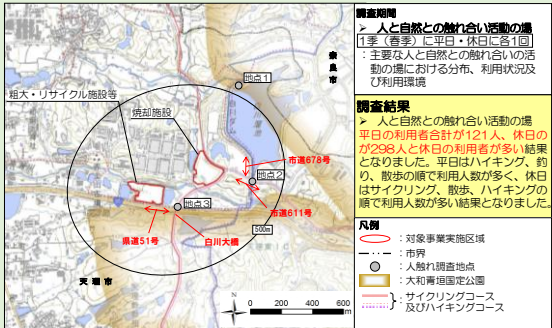
地点11(平司池北側)



施設の供用

施設の存在による景観の影響

予測した11地点のうち、地点1、3、5、8の4地点については眺望景観に変化が生じますが、事業の実施にあたっては、周辺の環境に調和するように**工作物配置や建物構造・色彩・緑化**等の眺望景観への影響を低減するための措置を講じ、影響を抑制します。



工事の実施

工事用車両の運行による人と自然との触れ合いの活動の場の影響

施設の供用

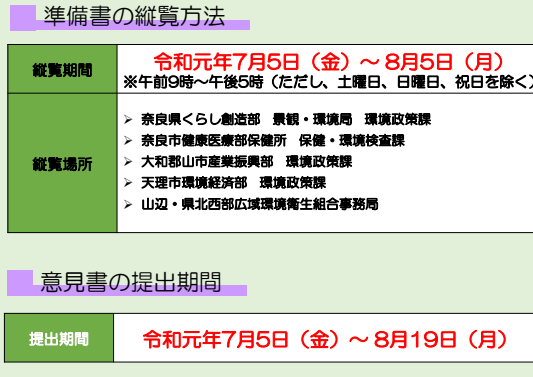
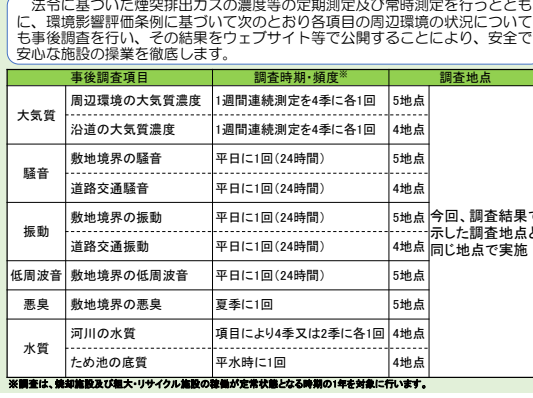
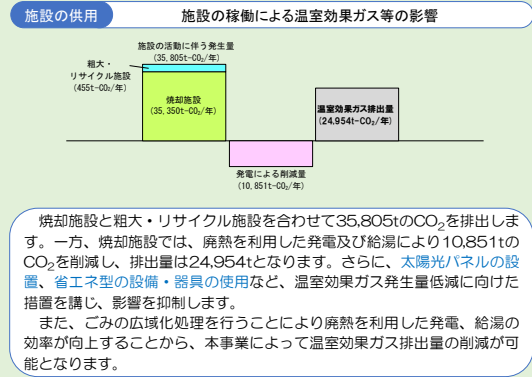
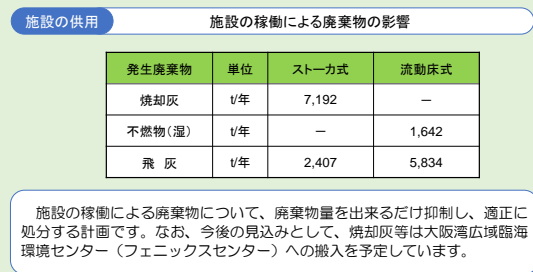
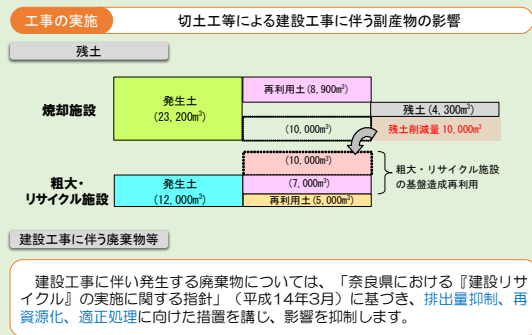
廃棄物搬入車両の運行による人と自然との触れ合いの活動の場の影響

工事用車両及び廃棄物搬入車両の走行により、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性に変化が生じますが、**車両走行や交通処理**に関する影響の低減・回避に向けた措置を講じることから、影響は小さいと考えます。

施設の供用

施設の存在による人と自然との触れ合いの活動の場の影響

人と自然との触れ合い活動の場（サイクリングコース、ハイキングコース）の快適性については、施設の存在による景観の変化が影響を与えると考えられますが、景観の影響で評価したとおり、影響は小さいと考えます。



ご清聴ありがとうございました